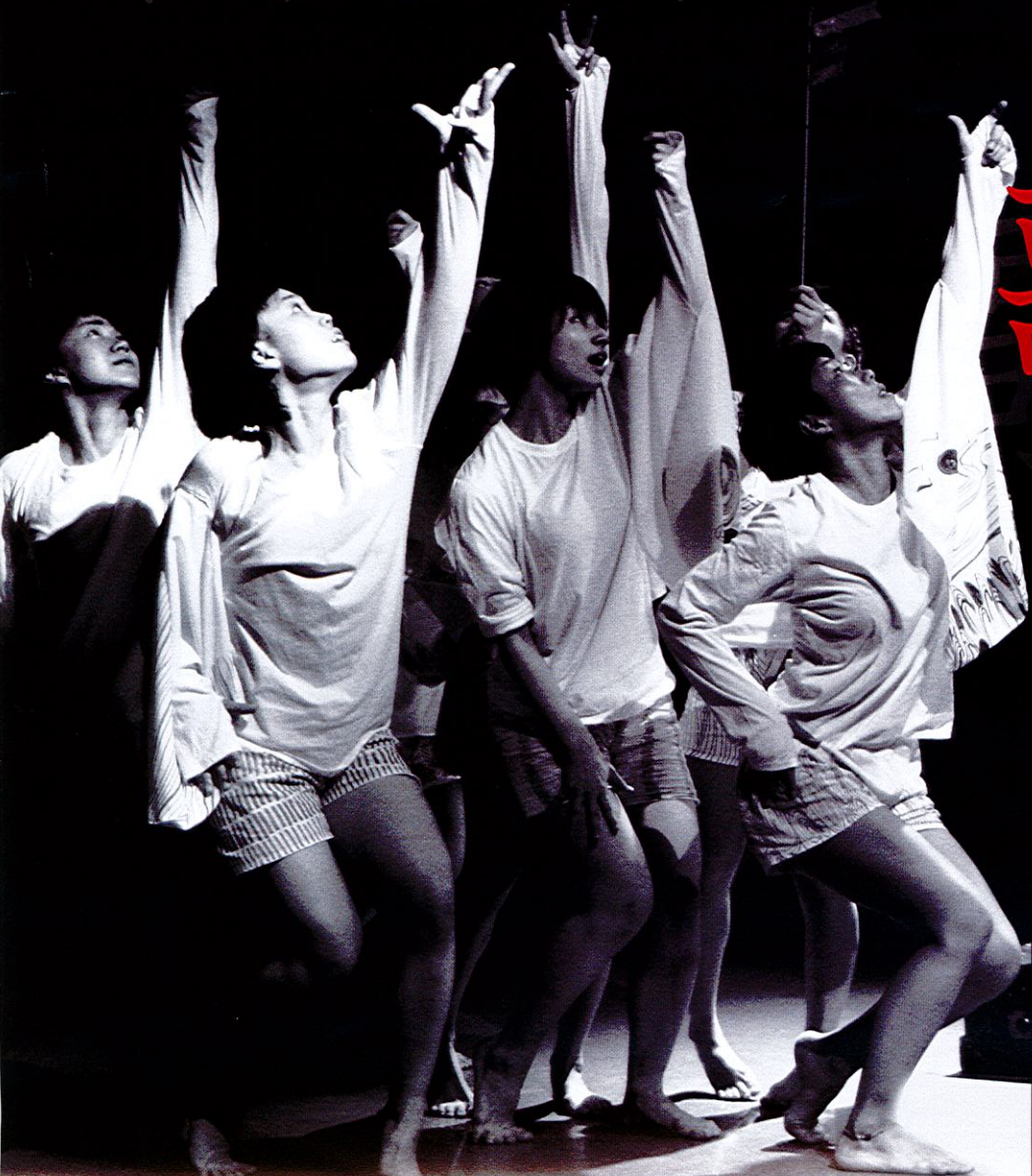


マドモアゼル・シネマ

舞
まい

歌
うた

大方斐紗子



於セツシヨンハウスB1スタジオ

3日(日)

18時

二〇一三年2月2日(土)

19時

一部 “舞”

『二月の子守唄』

振付・演出 伊藤直子

出演 大方斐紗子

マドモアゼル・シネマ

二部 “歌”

『エディット・ピアフ
を歌う』

歌 大方斐紗子

ピアノ 森丘ヒロキ

舞まい・歌うた

大方斐紗子は魂からほとぼしり出るように演じ、歌い、語り、そして踊ります。色あせない少女の心を踊るマドモアゼル・シネマのダンサーたちと世代を越えての2度目の共演は、再びよみがえる記憶を共有し、新たな子守唄の世界を創ります。

そして、来たる五月の世田谷パブリックシアターでのコンサートのプレ企画として、敬愛してやまない伝説の歌姫エディット・ピアフの歌を熱唱する二部構成で、豊かな大方ワールドを繰り広げます。

大方斐紗子
マドモアゼル・シネマ

一部 “舞” 『二月の子守唄』

振付・演出 伊藤直子

出演 大方斐紗子

相原美紀
竹之下たまみ
佐々木さやか
佐藤郁
外園彩織
橋本礼
高橋志帆



大方斐紗子 Hisako OHKATA

1939年福島生まれ。俳優座養成所(第十期)卒業後、数多くの舞台、テレビドラマ、映画のほか声優としても活躍。2008年初演したアボジリニの作家による一人芝居『ウインドミル・ベイビー』では一人13役を演じ、演劇誌『シアター』で年間ベストワンの舞台に選ばれ、その後毎年各地で再演を重ねている。また歌唱力にも定評がある彼女は、数多くのミュージカルにも出演するとともに、エディット・ピアフの曲をオリジナルの訳詞で唄うコンサートを聞く活動にも力を注いでいる。世田谷パブリックシアターでは2012年1月に続いて今年5月に『エディット・ピアフに捧ぐ』を開催する。2012年6月マドモアゼル・シネマの『つくちゃんの空』に客演、ダンスとのコラボレーションに新境地を開拓。

森丘ヒロキ Hiroki MORIOKA

1980年秋田県生まれ。幼少より父親の影響でクラシック音楽に親しみ、10歳の時ピアノを習い始める。国立音楽院でジャズピアノを今田勝、トム・ピアソンに師事。2000年浅草ジャズコンテストで金賞授賞。在学中よりプロ活動を開始し、数多くのミュージシャンとセッションを重ねる。2009年森丘ヒロキ楽団を設立。ライブ活動を積極的にやっている。

マドモアゼル・シネマ Mademoiselle Cinema

東京・神楽坂の小劇場セッションハウスの劇場付舞踊団として1993年に設立。振付の伊藤直子を中心に、新たな舞台表現を探る女性ダンサー、アーティストが集まり活動を開始。未来を志向するノスタルジア!をコンセプトに、ダンスと手仕事で共同創作し、新作を含む年1.5回の公演を実施。1998年より活動名を「探るダンス」とし、国内外(仏、独、ブルガリア、オーストリア、ルーマニア、ポーランド、ポルトガル等)へダンスを届ける旅を続けている。ダンスシアターの手法で随時ゲストを迎えて「異なるものとのコラボレーションに挑戦。昨年6月には『つくちゃんの空』で大方斐紗子と共演し新たな地平を切り開いた。2008年、平成20年度文化庁芸術祭新人賞受賞。11年、ポーランド・グリフィノ国際フェスティバル「シュツコパニエ 2011」で観客賞授賞。

二部 “歌” 『エディット・ピアフを歌う』

歌 大方斐紗子

ピアノ 森丘ヒロキ

スタッフ

照明 石関美穂
音響 上田道崇
舞台進行 鍋島峻介
美術 くに若尾
衣裳 原田松野
川上羽衣

制作 伊藤孝、上田知華
記録映像 plastic rains

主催 セッションハウス
現代制作舎
マドモアゼル・シネマ

料金

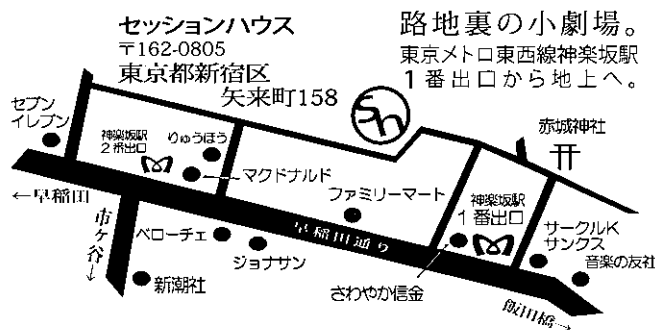
前売 3,500円 / 学生 3,000円
当日 +500円

マドモアゼル・シネマ

✉ m-c@session-house.net
yoyaku@session-house.net (予約)

🌐 <http://session-house.net/mc.html>

📞 03-3266-0461



「エディット・ピアフに捧ぐ」

大方斐紗子(歌)
森丘ヒロキ(pf.)

世田谷パブリックシアター
2012年5月19日(日)
14時開演

お問合せ
ムジカアキラ 03(5739)1739